

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	4-1-4		事業名	文化財施設整備事業
担当	観光文化局文化部文化財課 文化財係 熊谷 211-2312			
全体計画（当初）				
事業内容	文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承させていくため、適切かつ周到な維持・管理に努め、計画的な整備・補修等を行う。 〔主な事業の概要〕		＜年度別の事業内容＞	
	<p>1 文化財施設の経年による破損を補修し、文化財施設を未永く良好な状態に保つ。</p> <p>2 文化財施設を訪れる市民等の立場にたち、より利用しやすい環境づくりを行う。</p> <p>3 老朽化が進む文化財施設の保全改修計画を策定し、計画的な文化財施設の整備・補修等を行う。</p>		<p>〔17年度〕 旧永山武四郎邸保存修理工事 豊平館保存修理工事（バルコニー補修、外壁塗装）</p> <p>〔18年度〕 時計台保存修理工事（外壁、屋根塗、階段ハリアフリ化） 時計台催物案内板設置 文化財施設保全改修計画策定 （清華亭、旧黒岩家住宅、豊平館、新琴似屯田兵中隊本部、時計台、琴似屯田兵村兵屋跡、八窓庵の7施設）</p>	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	<p>時計台催物案内板設置については、民間団体からの寄付により当初計画を達成した。</p>		<p>旧永山武四郎邸保存修理工事 ・特に腐食の著しかった土台部分は建物を持ち上げて修復し、建物内外の壁及び天井、床、建具等は極力現状の部材を生かして修復を行った。 ・創建以降に、床の高さが下げられた応接室を当初の仕様に復し、物置など増築された部分を撤去する等、可能な限り創建時の姿に復原した。</p> <p>豊平館バルコニー補修 旧永山武四郎邸の工事を優先させ、豊平館保存修理工事については、18年度に実施することとしたが、このうちバルコニーの傷みが著しいことから、平成18年2～3月に、既往予算で補修を行った。</p>	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		平成19年度事業内容（決算）	
	<p>豊平館保存修理工事 外壁のペイント剥離が著しいことから、平成18-19年度の継続費事業として外壁補修工事を行うこととし、平成18年度は実施設計を行った。</p> <p>文化財施設保全改修計画策定 計画策定予定をしていた施設の中で復原修理工事後20年以上経過し、老朽化が進み緊急度が高い清華亭と旧黒岩家住宅の2施設について策定した。</p>		<p style="text-align: center;">評価（成果）</p> <p>1 文化財施設の保存修理については、当初計画順に実施し、未永く良好な状態に保つという目的を概ね達成することができた。</p> <p>2 文化財施設の保全計画については、2施設の計画を策定し、今後の計画的な補修等の基礎資料づくりを行うという目標を概ね達成することができた。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>1 計画年度に終了することが出来なかった豊平館保存修理工事（外壁工事）、時計台保存修理及び残る3施設の保全改修計画の策定。</p> <p>2 補修等を行った文化財施設に対する市民の関心を高める機会の充実。文化財をはじめ、広く札幌の歴史を学び、理解を深めるような事業や本市の集客交流資源としての文化財の活用等の検討。</p>	
19年度以降の方向性・事業の予定				
<p>1 文化財施設保存修理 引き続き、緊急度が高いものから補修等を行っていく。 （19年度：18-19年度継続事業の豊平館外壁補修工事の実施）</p> <p>2 文化財保存改修計画策定 残る3施設について優先度が高いものから実施していく。19年度は豊平館について実施。 （なお、八窓庵については復旧工事を実施。）</p> <p>3 文化財の普及啓発や集客交流資源としての活用に関する事業の調査・検討・実施。</p>				

